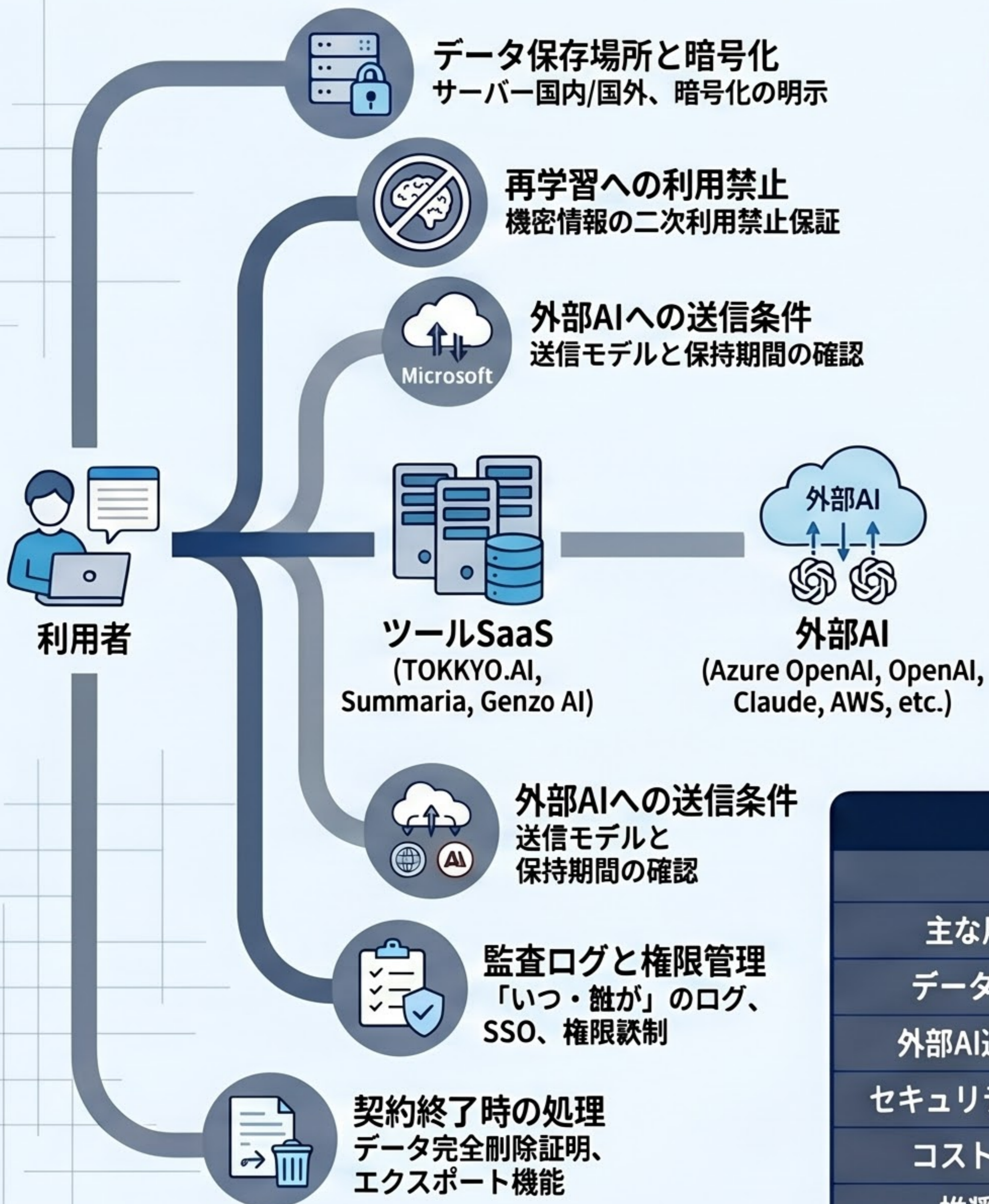


知財・生成AIツール導入比較ガイド：TOKKYO.AI、Summaria、Genzo AIの社内承認ポイント

日本企業における知財業務向け生成AIツールの評価軸、特徴、リスク管理情報の整理

社内承認を勝ち取るための「5つの重要評価軸」



Summaria

★ **最優先推奨：承認の通りやすさNo.1**

- 特許文書読解支援AIアシスタント
- ISMS認証 (ISO27001) 取得済み
- マルチLLMの活用と透明性
- SSO対応と個別アカウント運用

公開資料の透明性が高く、日本企業のセキュリティ審査に最も適合。

TOKKYO.AI

★ **条件付き推奨：実務効率の最大化**

- AI特許検索・起案一体型ツール
- 専用環境と検索履歴の保持
- 契約上の整理が必要な点

検索から起案まで1画面で完結。利用規約で外部AI送信を明記、契約確認が必要。

Genzo AI

★ **PoC推奨：強力な設計思想と将来性**

- 知財業務全体の自動化プラットフォーム
- 「国内AWS保存」と「運営者アクセス不可」
- Human-in-the-Loop設計
- 導入初期の注意点 (新しいサービスの新視)

島湾製作所のノウハウ基盤。強力なアクセス制御だが公開証跡が不足、PoC検証推奨。

3製品の横断比較マトリックス

	Summaria	TOKKYO.AI	Genzo AI
主な用途	特許文書読解・拒絶対応	特許検索・AIドラフティング	知財業務の広範な自動化
データ保存	AWS (国内・SSL通信)	専用環境 (詳細未指定)	国内AWS (運営者アクセス不可)
外部AI送信先	MS / OpenAI / AWS / Anthropic	Azure OpenAI / OpenAI	OpenAI / Google Gemini
セキュリティ認証	ISMS (ISO27001) 取得◎	ポリシー公開のみ△	公開証跡は現状不足△
コスト構造	プラン課金+従量課金	ID課金型	年額個別見積り型
推奨度	最優先推奨◎	条件付き推奨○	PoC推奨○